

令和7年度「学校教育自己診断（生徒・保護者）」の結果分析

（学校生活全般）

- ・生徒の「学校へ行くのが楽しい」という回答は昨年からやや減少し78.9%となった。一昨年と比較すると10ポイント以上高く、令和6年度にステップスクールへ改編して以降、高い水準を維持している。文化祭や体育祭などの行事の充実・活性化（肯定的評価：82.4%、78.2%）、地域連携を取り入れた体験的な取組み（肯定的評価：84.3%）などが要因の一つと考えられる。一方で約20%の生徒は「楽しくない」と回答しており、この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動を一層充実させる必要がある。
- ・保護者の「子どもは岬高校へ行くのを楽しみにしている」は74.8%と上昇した。生徒の肯定的評価と同水準であり、家庭でも学校のことが共通の話題になっていると考えられる。
- ・生徒の「ステップスクール（1・2年生）、エンパワメントスクール（3年生）に来てよかった」は87.7%と上昇した。オープンスクールや学校説明会などで岬高校の取組みを理解した上で入学する生徒が増えていること、また入学後に充実した学校生活を送っていることが要因と考えられる。
- ・生徒の「先生は、他の人に知られたくない秘密や成績などの内容について、プライバシーを守っている」の肯定的評価は78.0%と大きく減少した。個人情報に関する事案があったためである。教職員一人ひとりが個人情報の取扱いに関する意識を高め、校内体制を見直し、このような事案が二度と起こらないよう徹底する。

（学習指導）

- ・生徒の「1年生モジュール授業（国・数・英の毎日30分授業）」に関する肯定的評価は89.0%と高水準を維持している。
- ・生徒の「2・3年生の系列・コースの科目（授業）」に関する肯定的評価は84.3%とやや減少したものの高水準を維持している。地域と連携した取組みの開発・充実を図り、ステップスクールとして特色ある授業を展開する。
- ・生徒の「コンピュータや電子黒板などの視聴覚機器が授業でよく使われている」の肯定的評価は81.9%、「1人1台端末を積極的に活用している」の肯定的評価は84.5%と高水準を維持している。生徒にとって「分かる授業」をめざし、各教員が積極的にこれらの機器を活用した結果と考えられる。

（進路指導）

- ・生徒の「岬高校では、進路についての学習をしっかりと行ってくれる」の肯定的評価は88.1%と高水準を維持している。3年間を通じた進路指導（1年次「知る」、2年次「探る」、3年次「叶える」）のもとで、校内外で様々な取組みを行った結果と考えられる。
- ・保護者の「岬高校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の肯定的評価は85.5%と昨年度より約10ポイント上昇した。また「岬高校は、進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている」の肯定的評価は76.7%と昨年度より約5ポイント上昇した。3年生での進路指導はもちろん、1・2年生でのジョブチャレンジやインターンシップ、保護者対象の進路行事や情報発信の成果と考えられる。

(生徒指導)

- ・生徒の「岬高校にはいろいろきまりがあって厳しいけれど、自分のためになっていると思う」の肯定的評価は76.2%、「遅刻指導があるので、自分自身の遅刻が減っていると思う」の肯定的評価は75.0%と昨年度と同水準である。引き続き「寄り添い」「粘り強い」生徒指導を行う。
- ・保護者の「岬高校の先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる」の肯定的評価は76.8%と約6ポイント上昇した。また「岬高校は、保護者の相談に適切に応じてくれる」の肯定的評価は82.6%と約6ポイント上昇した。保護者と教員が常に協力・連携し、生徒指導を行っている結果と考えられる。
- ・生徒の「岬高校の先生は、自分が努力したことを認めてくれたり、ほめてくれたりする」の肯定的評価は90.0%と上昇した。何事にも前向きに頑張る生徒が増えたこと、そして担任はもちろん、その他多くの教員が生徒を見守っていることが要因と考えられる。

(支援体制)

- ・生徒の「岬高校ではいじめやそれに近いことが起こったときにきちんと対応してくれる」の肯定的評価は76.1%と上昇した。引き続き、いじめ事案の未然防止、また事案発生時の迅速な対応ができる組織づくりに尽力する。
- ・生徒の「担任の先生以外にも、保健室や相談室、副担任や他クラスの担任など、気軽に相談できる先生がいる」は76.9%と約4ポイント上昇した。各教職員が積極的に生徒に関わっていること、またステップスクールへの改編により、スクールカウンセラーの常駐、スクールソーシャルワーカーやキャリア教育コーディネーターの来校回数が府下最多となり、外部専門人材と教員が連携して生徒対応に当たっていることが要因と考えられる。

(防災教育)

- ・生徒の「学校で、事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか知らされている」の肯定的評価90.0%と10ポイント以上大きく上昇した。避難訓練の他に防災訓練HR(災害時安否確認フォーム)を実施したことが要因と考えられる。

(部活動)

- ・生徒の「部活動に入っていますか？」では「1年からずっと」「途中から今まで」を合わせて31.1%とやや減少した。部活動への入部を促すために生徒会主催の部活動体験会を実施したが、加入率の向上にはつながらなかった。活気ある学校づくりをめざし、引き続き部活動の活性化を推進する。

(施設・設備面)

- ・生徒の「学校図書館を利用していますか？」では「利用していない」が77.8%と利用率の低い結果となった。生徒が現在求めている書籍、図書館の開放時間、設備面などを見直し、利用率向上に向けた工夫を行う。

(PTA活動)

- ・保護者の「PTA活動に参加したことがある」の肯定的評価は18.1%と昨年度よりやや上昇したものの依然低い状況である。文化祭や体育祭、PTA主催のスポーツ大会、社会見学会などへの参加を促すため、PTA役員と連携し、情報発信を強化する。